

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年4月4日(2013.4.4)

【公開番号】特開2012-131808(P2012-131808A)

【公開日】平成24年7月12日(2012.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-027

【出願番号】特願2012-24825(P2012-24825)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	39/44	(2006.01)
A 6 1 K	51/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/519	(2006.01)
A 6 1 K	31/513	(2006.01)
A 6 1 K	31/704	(2006.01)
A 6 1 K	33/24	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/395	L
A 6 1 K	39/44	
A 6 1 K	49/02	C
A 6 1 K	49/02	B
A 6 1 K	31/519	
A 6 1 K	31/513	
A 6 1 K	31/704	
A 6 1 K	33/24	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 K	39/395	T
C 0 7 K	16/18	

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月18日(2013.2.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

修飾された抗体を産生するために抗体上に配置された複数の遊離アミノ基の少なくとも1個でビオチンと複合体化された抗体、該抗体は完全な抗体と比較して減少した正味の正電荷を有し、該抗体はF(ab')<sub>2</sub>フラグメントおよび同じタイプの完全な抗体のクリアランス速度の間のインビボ・クリアランス速度を有する、但し、該ビオチンはヘテロ二官能性剤を介して該抗体に結合していない；および、

該修飾された抗体に付着した化学的部分、  
を含む物質の組成物。

【請求項2】

前記抗体がモノクローナル抗体およびポリクローナル抗体からなる群から選択される、請求項1に記載の組成物。

**【請求項 3】**

前記化学的部分が標識である、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 4】**

前記標識が放射性核種である、請求項 3 に記載の組成物。

**【請求項 5】**

前記放射性核種がハロゲン放射性核種およびテクニチウム(technetium)からなる群から選択される、請求項 4 に記載の組成物。

**【請求項 6】**

前記ハロゲン放射性核種が<sup>125</sup>I および<sup>131</sup>I からなる群から選択される、請求項 5 に記載の組成物。

**【請求項 7】**

前記標識が磁気共鳴画像化により検出できる、請求項 3 に記載の組成物。

**【請求項 8】**

前記化学的部分が生物学的に活性な分子である、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 9】**

前記生物学的に活性な分子が毒素、薬剤およびキレートからなる群から選択される、請求項 8 に記載の組成物。

**【請求項 10】**

前記薬剤がメトトレキセート、5-フルオロ-ウラシル、シスプラチン(cis-platinum)およびアドリアマイシンからなる群から選択される、請求項 9 に記載の組成物。

**【請求項 11】**

前記抗体がキメラ抗体である、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 12】**

前記抗体がモノクローナル抗体TNT-1である、請求項 2 に記載の組成物。

**【請求項 13】**

修飾された抗体を產生するために抗体上に配置された複数の遊離アミノ基の少なくとも 1 個で化学的試薬と複合体化された抗体、該抗体は完全な抗体と比較して減少した正味の正電荷を有し、該抗体はF(ab')<sub>2</sub>フラグメントおよび同じタイプの完全な抗体のクリアランス速度の間のインビオ・クリアランス速度を有する、但し、該化学的試薬はヘテロ二官能性剤ではない；および、

該修飾された抗体に付着した化学的部分、該化学的部分はリシンA鎖を含む、を含む物質の組成物。